

シリーズ「グローバル・ジャスティス」
第15回

グローバル時代、東アジア文化共同体 起源と形成、展望と課題

글로벌시대 동아시아 문화공동체: 기원과 형성, 전망과 과제



김귀옥
金貴玉 キム・ギョク

漢城大学校 教授・同 戦争平和研究所 所長

グローバル時代の国家間では、過去の冷戦時代とは異なり多様な交流がなされている。そこには協力の努力のみがあるのではなく、国家間の競争と葛藤もはらんでいる。ところがそれよりも活発な交流が市民社会レベルでおこなわれている。市民社会は国家によって主導されるが、一定の自律性をもって交流している。そうした現象は東アジアの中にもみられる。東アジア人はほかの国の文化に接し、それを理解することにより、東アジア的なアイデンティティを共有する可能性をもつようになった。この講義では、アジア的文化アイデンティティの形成過程、1990年代の脱冷戦以後のアジアの再発見と国家間の文化交流、東アジア文化共同体の平和的展望と課題について考える。

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時：7月14日(木)

18:30-20:00

会場：博遠館 212 番教室

共催：同志社コリア研究センター

来聴歓迎・予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp